

農業の未来と、 福祉の未来を一緒に創る

三重大発・日本唯一の農福連携サークルが探る、「稼げる農業」の新たな選択肢

<本件に関するお問合せ>

三重大学公認サークル・ノウフク！ 中村怜央

TEL: 080-9495-8674

E-mail: 626M010@m.mie-u.ac.jp

目次

01 サークル紹介

02 農福連携とは

03 活動内容

04 結論

01 サークル紹介

農福連携サークル「ノウフク！」

- 日本で唯一の農福連携に取り組む大学公認サークル
- 活動理念：一人でも多くの人に農福連携を伝える。
→大学生の視点とフットワークで活動
- 一般社団法人 三重県障がい者就農促進協議会との協力関係

協議会がもってるもの

- 県内のネットワーク
- イベントの場所・機会
- 農福連携の情報・ノウハウ
- 行政・農業者とのパイプ



協力！

サークルがやること

- Instagram・SNS発信
- 広告・ポップ制作
- マルシェ現場での運営
- 学生目線のアイデア・企画

<一般社団法人 三重県障がい者就農促進協議会の連絡先>

〒 514-0003 三重県津市桜橋 2丁目 142 三重県教育文化会館 1F

TEL.059-253-4187 FAX.059-253-3359

E-mail mieshuno@dune.ocn.ne.jp

02 農福連携とは

定義

障がい者の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組。
さらに高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある者の就労・社会参画支援や、
犯罪をした者等の立ち直り支援にも拡大

改正食料・農業・農村基本法(2024)より



03 活動内容①

津駅マルシェ



学生が企画から調達、販売までを
プロデュース



新鮮な野菜と、絶品の加工品

県内の朝採り野菜や、
高校と事業所のコラボ商品などもあります。



月に2回、津駅チャムにて開催

計20回以上開催



03 活動内容②

事業所訪問

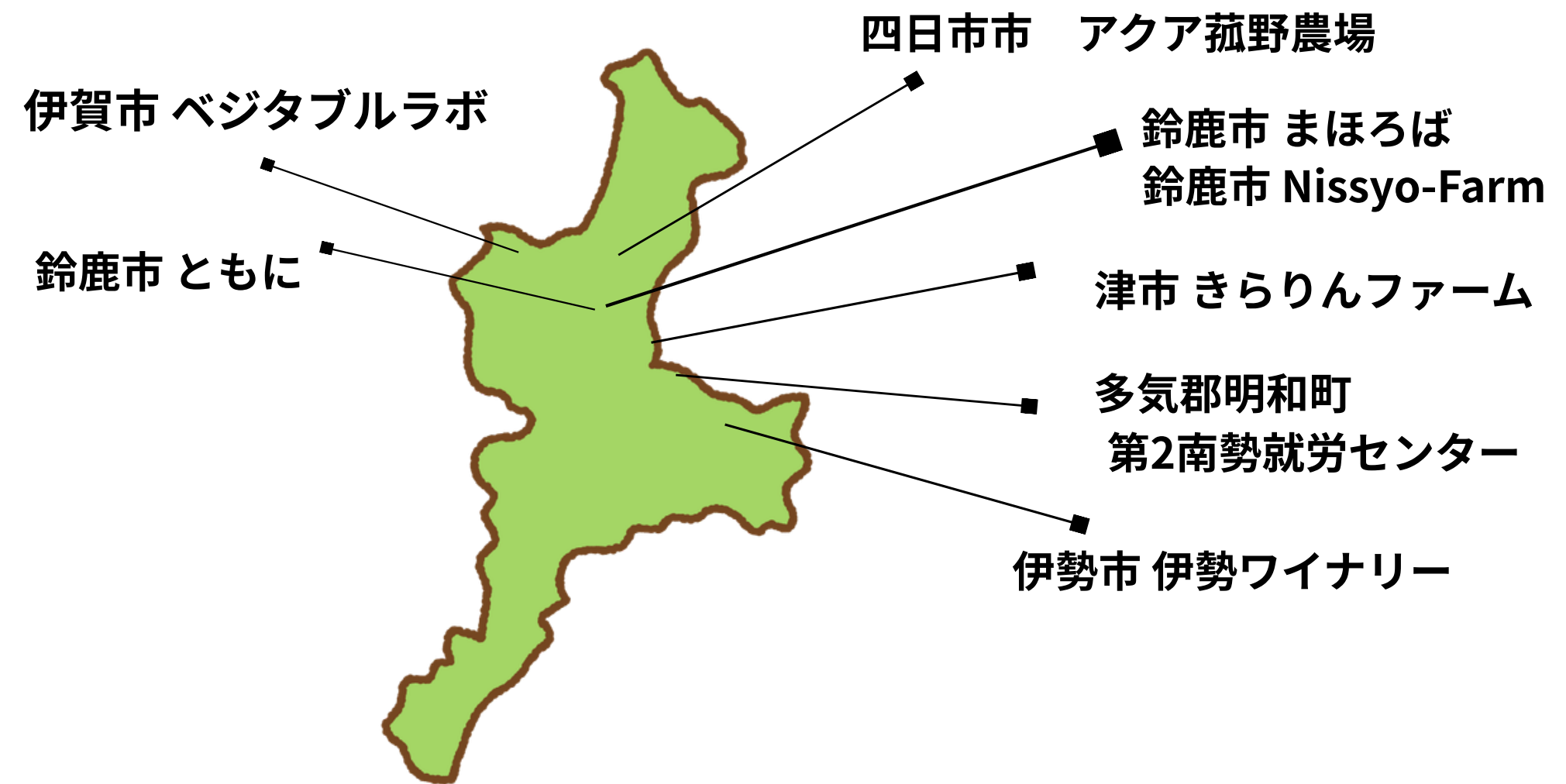


事業所の方や利用者の方との対話

主に長期休みを活用して、県内の事業所へ訪問しています。

作業を手伝いながら「農福連携」とはどのようなものなのかを経験する良いとなっています。

〈これまで訪問した事業所〉





水やりできますか？

水やり

何となく感覚で行う

→その感覚ってみんな同じですか？

水やり

何となく感覚で行う

→その感覚ってみんな同じですか？

事業所

「一株に3秒間水をあげてください。」

水やり

何となく感覚で行う

→その感覚ってみんな同じですか？

事業所

「一株に3秒間水をあげてください。」

〈学び〉

- 当たり前が通用しない
- 各事業所の持つ福祉哲学
- 作業の正確さや丁寧さ(手作業の可能性)

手作業が価値を生む「伊勢ワイナリー」の挑戦



法人社名:伊勢ワイン株式会社

「プロの従業員」としての規律

機械にはできない「究極の手作業」

産官連携による肥料開発

伊勢ワイナリー × 製薬会社
三重県庁

高品質 & 高工賃の実現

国税庁 品質調査「優」

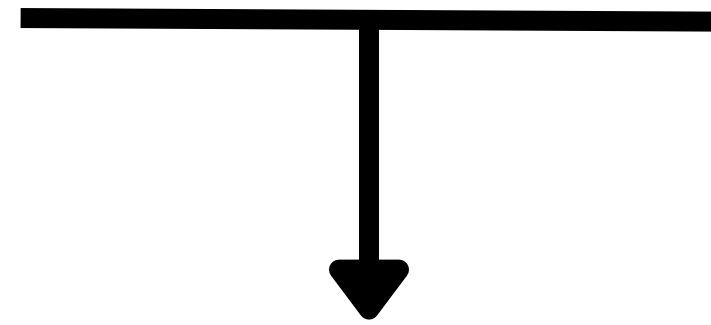
サークルでは、事業所訪問を通し
農福連携を学ばせていただいております。



04 結論

津駅マルシェ

事業所訪問



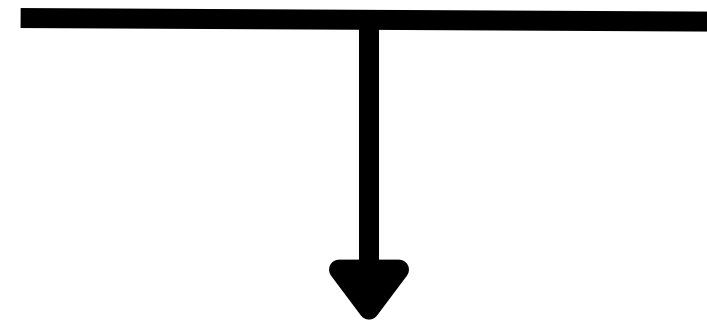
農福連携とは

福祉哲学、地域連携、社会的包括、
エンパワーメント、社会参画、etc..

04 結論

津駅マルシェ

事業所訪問



農福連携とは

福祉哲学、地域連携、社会的包括、
エンパワメント、社会参画、etc..

チャリティーからビジネスへ

私たちは「一人でも多くの人に農福連携を伝える。」をモットーに活動していきます。

ご清聴ありがとうございました。



<ノウフク！のInstagram>



@NOUFUKU.MIEUNI